

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿本 敏男
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	172,218	1.2	12,741	26.3	13,403	23.4	8,876	35.6
28年3月期第3四半期	170,250	2.5	10,091	△4.6	10,858	△1.0	6,546	9.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,558百万円 (△66.7%) 28年3月期第3四半期 4,679百万円 (△47.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	44.11	—
28年3月期第3四半期	32.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	269,737	158,981	48.3
28年3月期	253,253	156,148	51.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 130,334百万円 28年3月期 130,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	12.00	12.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

・配当予想の修正については、本日(平成29年1月30日)公表いたしました「平成29年3月期 連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

・28年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,100	3.9	13,100	12.1	13,800	7.5	8,300	17.6	41.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	217,699,743 株	28年3月期	217,699,743 株
29年3月期3Q	16,475,585 株	28年3月期	16,475,391 株
29年3月期3Q	201,224,286 株	28年3月期3Q	201,225,138 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調にあるものの個人消費は力強さに欠ける状況が続いております。

一方、海外においては、米国では景気回復基調が続いておりますが、新興国経済の景気下振れリスクや英国のEU離脱問題、米国の今後の政策の影響など、世界景気は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた第2ステップとしての「宝グループ中期経営計画2016」の最終年度をむかえ、引き続き国内では収益力の向上、海外では事業の拡大・伸長に取り組むとともに、バイオ事業の成長加速により、環境変化に強いバランスのとれた事業構造に変革していくことを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高172,218百万円（前年同期比101.2%）、売上総利益70,881百万円（前年同期比104.4%）、営業利益12,741百万円（前年同期比126.3%）、経常利益13,403百万円（前年同期比123.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,876百万円（前年同期比135.6%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

[宝酒造グループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎は減少いたしました。清酒は前年同期並みとなりました。ソフトアルコール飲料は、引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移しましたので増加いたしました。

その他酒類でもウイスキーが増加しましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料はみりんや料理清酒の好調により増加し、原料用アルコール等も増加しましたが、物流は減少いたしました。

海外日本食材卸では、FOODEX S. A. S.（仏国）、COMINPORT DISTRIBUCIÓN S. L.（スペイン）などが引き続き好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造グループ全体の売上高は、148,818百万円（前年同期比101.3%）となりました。売上原価は、92,152百万円（前年同期比100.2%）となりましたので、売上総利益は、56,666百万円（前年同期比103.3%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費や運送費などの増加により47,252百万円（前年同期比101.0%）となりましたので、営業利益は、9,413百万円（前年同期比116.4%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外における現地通貨ベースでは増収となりましたが円高の影響が大きく、20,645百万円（前年同期比99.7%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、8,106百万円（前年同期比88.1%）となりましたので、売上総利益は、12,538百万円（前年同期比109.0%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の減少により9,813百万円（前年同期比97.5%）となりましたので、営業利益は、2,724百万円（前年同期比188.6%）となりました。

[宝ヘルスケア]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、化粧品OEMが減少したことなどにより、1,337百万円（前年同期比97.2%）となりました。売上原価は、510百万円（前年同期比78.5%）となりましたので、売上総利益は、826百万円（前年同期比113.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費や管理費などの増加により813百万円（前年同期比118.7%）となりましたので、営業利益は、13百万円（前年同期比32.2%）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,465百万円（前年同期比102.2%）、売上原価は、3,857百万円（前年同期比100.5%）となりましたので、売上総利益は、608百万円（前年同期比114.4%）となりました。販売費及び一般管理費は、501百万円（前年同期比100.3%）となりましたので、営業利益は107百万円（前年同期比331.1%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	前年同期比
	品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ				
	焼酎	45,539	44,569	97.9
	清酒	19,848	19,855	100.0
	ソフトアルコール飲料	21,263	23,698	111.5
	その他酒類	10,458	10,592	101.3
	酒類計	97,110	98,716	101.7
	本みりん	11,933	11,987	100.4
	その他調味料	7,199	7,603	105.6
	調味料計	19,133	19,590	102.4
	原料用アルコール等	5,432	5,667	104.3
	物流	8,922	8,039	90.1
	海外日本食材卸	15,164	15,759	103.9
	その他	1,096	1,044	95.3
	計	146,859	148,818	101.3
タカラバイオグループ		20,706	20,645	99.7
宝ヘルスケア		1,376	1,337	97.2
その他		4,369	4,465	102.2
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去		△3,061	△3,048	—
合計		170,250	172,218	101.2

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ16,484百万円増加し、269,737百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ13,784百万円増加し、172,857百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6,456百万円、受取手形及び売掛金が15,234百万円、商品及び製品が2,976百万円それぞれ増加し、有価証券が11,528百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2,700百万円増加し、96,880百万円となりました。これは主に、有形固定資産が3,854百万円、投資有価証券などの投資その他の資産が833百万円それぞれ増加し、無形固定資産が1,988百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ13,652百万円増加し、110,756百万円となりました。このうち流動負債は前連結会計年度末に比べ20,421百万円増加し、68,069百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,455百万円、短期借入金が3,010百万円、1年内償還予定の社債が10,000百万円、未払酒税が4,729百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6,769百万円減少し、42,686百万円となりました。これは主に、社債が流動負債への振替により10,000百万円減少し、長期借入金が1,061百万円、繰延税金負債などの固定負債その他が2,073百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,832百万円増加し、158,981百万円となりました。これは主に、利益剰余金が6,461百万円、その他有価証券評価差額金が2,777百万円、非支配株主持分が2,884百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が9,720百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績及び直近の状況を踏まえ、平成28年11月10日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

連結売上高につきましては、宝酒造グループ、タカラバイオグループともにほぼ計画通りに推移しており、前回発表予想を据え置くことといたします。

利益面では、宝酒造グループでは国内酒類事業が順調に推移していることに加え海外子会社が計画を上回る見通しであり、またタカラバイオグループでは遺伝子医療に関する収入等により計画を上回る見込みであることから、連結営業利益を500百万円、連結経常利益を500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を100百万円、それぞれ上方修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,386	44,843
受取手形及び売掛金	53,602	68,837
有価証券	28,238	16,710
商品及び製品	29,739	32,715
仕掛品	1,077	1,091
原材料及び貯蔵品	3,401	3,645
その他	4,859	5,246
貸倒引当金	△231	△232
流動資産合計	159,073	172,857
固定資産		
有形固定資産	53,065	56,919
無形固定資産		
のれん	6,975	5,835
その他	4,035	3,187
無形固定資産合計	11,010	9,022
投資その他の資産		
投資有価証券	24,747	25,527
その他	5,468	5,502
貸倒引当金	△112	△92
投資その他の資産合計	30,103	30,937
固定資産合計	94,179	96,880
資産合計	253,253	269,737
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,201	16,656
短期借入金	4,994	8,004
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払酒税	7,855	12,584
未払費用	4,965	5,728
未払法人税等	2,307	2,501
販売促進引当金	1,870	2,264
その他の引当金	2,319	1,696
その他	8,133	8,633
流動負債合計	47,648	68,069
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	10,255	11,316
退職給付に係る負債	8,544	8,660
長期預り金	5,379	5,358
その他	5,277	7,350
固定負債合計	49,456	42,686
負債合計	97,104	110,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	1,879	1,650
利益剰余金	113,663	120,125
自己株式	△9,938	△9,938
株主資本合計	118,830	125,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,822	9,600
繰延ヘッジ損益	△445	223
為替換算調整勘定	5,548	△4,172
退職給付に係る調整累計額	△370	△380
その他の包括利益累計額合計	11,555	5,271
非支配株主持分	25,762	28,646
純資産合計	156,148	158,981
負債純資産合計	253,253	269,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	170,250	172,218
売上原価	102,349	101,336
売上総利益	67,901	70,881
販売費及び一般管理費	57,809	58,139
営業利益	10,091	12,741
営業外収益		
受取配当金	436	453
持分法による投資利益	275	242
その他	533	432
営業外収益合計	1,245	1,128
営業外費用		
支払利息	335	321
その他	143	144
営業外費用合計	479	466
経常利益	10,858	13,403
特別利益		
段階取得に係る差益	—	864
その他	327	66
特別利益合計	327	931
特別損失		
減損損失	—	199
固定資産除売却損	148	108
その他	51	17
特別損失合計	199	325
税金等調整前四半期純利益	10,986	14,009
法人税、住民税及び事業税	4,168	4,461
法人税等調整額	△122	△13
法人税等合計	4,046	4,448
四半期純利益	6,940	9,560
非支配株主に帰属する四半期純利益	393	684
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,546	8,876

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	6,940	9,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	2,777
繰延ヘッジ損益	△425	668
為替換算調整勘定	△1,732	△11,449
退職給付に係る調整額	△34	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	—
その他の包括利益合計	△2,260	△8,002
四半期包括利益	4,679	1,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,568	2,592
非支配株主に係る四半期包括利益	110	△1,033

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	146,673	20,048	1,374	168,097	1,807	169,904	346	170,250
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	657	1	845	2,561	3,407	△3,407	—
計	146,859	20,706	1,376	168,942	4,369	173,311	△3,061	170,250
セグメント利益	8,085	1,444	40	9,570	32	9,603	488	10,091

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益などであります。
- (2) セグメント利益は、セグメント間取引消去28百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益459百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	148,648	20,036	1,335	170,021	1,851	171,872	345	172,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169	608	1	779	2,614	3,394	△3,394	—
計	148,818	20,645	1,337	170,801	4,465	175,267	△3,048	172,218
セグメント利益	9,413	2,724	13	12,151	107	12,259	482	12,741

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益などであります。
- (2) セグメント利益は、セグメント間取引消去65百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益416百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて199百万円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

平成28年12月15日にタカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.は、Rubicon Genomics, Inc. (以下、「Rubicon社」という。)の株式を取得し子会社化することについてRubicon社と買収合意書を締結し、平成29年1月17日に当該株式を取得いたしました。

(1) 株式取得の目的

タカラバイオグループでは、基礎研究から産業応用まで幅広い分野で利用されている次世代シーケンス解析用試薬キット開発に注力しております。Rubicon社がタカラバイオグループに加わることで、同社の持つ超微量DNA配列解析用サンプル調製技術とタカラバイオグループの持つ超微量RNA配列解析用サンプル調製技術が補完的に組み合わせることにより、超微量核酸解析領域でより幅広い製品・サービスを提供することが可能となります。さらに、平成29年3月に買収予定であるWaferGen Bio Systems, Inc.の次世代シーケンス解析用前処理システム(装置)が加わることにより、基礎研究から産業応用まで幅広い領域に製品・サービスを提供することが可能となります。

(2) 株式取得の相手会社の名称

被取得企業の経営者およびその他の株主

(3) 買収する相手会社の名称、事業の内容、規模

①名称	Rubicon Genomics, Inc.
②所在地	4743 Venture Drive, Ann Arbor, MI 48108 United States
③代表者の役職・氏名	Dr. James Koziarz, CEO
④事業内容	研究用試薬の製造・販売
⑤平成27年12月期の財政状態	資本金 : 13,249千ドル
および経営成績	純資産 : △447千ドル
	総資産 : 4,338千ドル
	売上高 : 8,346千ドル
	営業利益 : 1,460千ドル

(4) 株式取得の時期

平成29年1月17日

(5) 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

①異動前の所有株式数	なし
②取得株式数	普通株式 : 23,006,790株 (議決権の数 : 23,006,790個)
③取得価額	Rubicon社の普通株式 75,000千ドル
④異動後の所有株式数	普通株式 : 23,006,790株 (議決権の数 : 23,006,790個、議決権所有割合 : 100%)

(6) 支払資金の調達方法および支払方法

取得資金につきましては、全額タカラバイオグループ内の自己資金より充たいたします。